「よりそいサポートきた」の取り組み状況について

- 1. 北区の自立相談支援事業(相談支援)の体制
- (1) 場所 北区役所 3階 30番窓口 (平成 27年 4 月開設)
- (2) 相談員:2名(北区社会福祉協議会) 主任相談支援員1名、相談支援員1名
- (3) 受託事業者

(社福) 大阪市北区社会福祉協議会、(社福) みおつくし福祉会

2. 相談支援の状況(平成27年度)

	合計
男性	44
女性	35
合計	79

(2) 新規相談者の年代

年齢	合計		
10 代以下	0		
20 代	5		
30 代	10		
40 代	10		
50 代	10		
60~64 歳	14		
65 歳以上	21		
不明	9		
合計	79		

(1) 新規相談受付件数(実人員)及び性別 (3) 新規相談者の相談経路(複数カウントあり)

	合計	
本人自ら来所	60	
本人自ら電話	6	
家族や知人が来所	5	
家族や知人からの電話	2	
自立相談支援機関が把握	0	
関係機関からの紹介	9	

(4) 支援実施件数

電話相談・連絡	37		
面談	89		
支援調整会議 (プラン策定)	1		
その他関係機関との会議	1		
関係機関との電話照会・協議	7		
その他	3		
合計	138		

(5) 新規相談者がかかえる課題 (*別紙1 参照)

病気・障がい・メンタルヘルス等の課題をかかえる相談者: 35% 住居喪失にかかる課題をかかえる相談者: 33% 就労・就職活動に関する課題をかかえる相談者: 19%

(6) 生活保護制度との関係

自立相談支援 → 生活保護 23名 (新規相談者の 29%) 生活保護 → 自立相談支援 4名 (新規相談者の 5%)

*差し迫った状況になってから相談に来られて、生活保護への相談を勧めるしかない 場合も 多い。失職等で預金を切り崩して生活している場合など、「あと 2 か月くらいは何とかなるけ ど・・」という段階で相談できる窓口だと知ってもらう必要あり。

北区 生活困窮者自立支援事業(相談支援)新規相談者の主要な問題

(複数カウントあり)

	4月	5月	合計
病気	9	6	15
けが	0	0	0
 	4	0	4
障がい (疑い)	3	1	4
自死企図	0	0	0
その他メンタルヘルス(うつ・不眠・不安・			_
依存症・適応障がいなど)	4	1	5
コミュニケーションが苦手	3	0	3
本人の能力の課題 (識字・理解等)	0	1	1
住まい不安定	11	3	14
ホームレス	8	4	12
経済的困窮	37	20	57
(多重・過重)債務	6	1	7
家計管理の課題	4	0	4
就職活動困難	9	2	11
就職定着困難	4	0	4
生活習慣の乱れ	0	0	0
社会的孤立 (ニート・ひきこもり)	4	0	4
家族関係・家族の問題	5	2	7
不登校	0	0	0
非行	0	0	0
中卒・高校中退	0	0	0
ひとり親	2	0	2
DV・虐待	1	0	1
外国籍	1	0	1
刑余者	2	1	3
被災	0	0	0
その他	6	4	10